

現在のミャンマー情勢に関する日本国際平和構築協会の声明と提言

令和3年2月12日

1. 民主的な選挙によって成立した国民民主同盟（NLD）政権を武力で転覆した2月1日のミャンマー国軍のクーデターは到底容認できるものではなく、アウンサンスーチー国家顧問とウィンミン大統領をはじめとする不当に拘束されている人々を直ちに解放すべきである。また、軍事政権と反政府勢力の間に予期せぬ武力衝突がおき、さらなる死傷者がでることを避けるために、日本政府は速やかにミャンマーの軍事政権と国連安全保障理事会に働きかけ国連特別政治ミッション¹を設立する努力をすべきである。
2. もっとも重要なことは、ミャンマー国民の意思を尊重すると同時に彼らの生命を守ることである。国民の意思を尊重する民主主義と彼らの生命を守る人権擁護を同時に達成するためには、いたずらに軍や警察を刺激するよりも、国連が、公正な立場でよき調停者として介入し、すべてのステークホルダー間の対話を促し、平和的に事態の收拾を図るほうが効果的である。
3. また直ちに経済制裁等を発動することが、日本をはじめとする民主主義国家にとって得策とは思えないし、民主化を求めるミャンマーの人々のエンパワーメントにつながるかどうかも見極めなければならない。ミャンマーの軍事政権を経済的に厳しく追い詰めれば、他の強権的な国々が手を差し伸べ、ミャンマーの民主主義への復帰が一層遅れる恐れもでてくる。
4. 現在の状況をこれ以上悪化させないためには、迅速な行動が求められている。しかしながら、複雑な国際情勢にかんがみ、日本政府は事態を静観することになるのではないかと憂慮する。しかし、そのような受動的な傍観政策は、アジア特に東南アジアにおいて死活的な利益を有する日本にとって有益でないどころか、日本の信頼性を低下させ、国益を損なうことになる。ミャンマーの人々の人権を守り民主的ガバナンスを回復させると同時に国家の安定を確保するために、日本政府は建設的な行動を取るべきであり、当協会は次の提言をおこなう。
5. 日本政府は、国連安保理に対して、現在の国連特使（Special Envoy）のマンデートを改訂し、国連特別政治ミッション（UN Special Political Mission）を設置し、国連のプレゼンスを強化すべきであると強く働きかけるべきである。日本は、国際的には欧米諸国と民主主義の価値観を共有しながらもアジアの隣国である中国とも一定の友好関係を維持している。またミャンマー国内においても、NLD政

¹ 国連特別政治ミッション（UN Special Political Mission）は、政務・平和構築局の指揮下に展開され、通常、部隊単位での軍事部門や警察部門は含まれない。この点において、平和活動局が指揮している平和維持活動（PKO）とは異なる。

権のみならず、軍部とも長年にわたる強いパイプを持っている。こうした日本のユニークな立場を今こそ生かすべきである。安保理の常任理事国をはじめとする国連のすべてのメンバー国とミャンマー国内のすべてのステークホルダーに国連プレゼンスの強化を呼びかけ、安保理決議の採択を目指すべきである。そして新たに作られる特別政治ミッションにおいて、日本は、これらの国々と協力して、紛争解決と平和構築のためにリーダーシップを発揮すべきである。

6. 安保理決議には、すくなくとも次の6つの点が含まれるように働きかけるべきである。①国連安保理は、現在の軍事政権を正当なものとは認めないが、ミャンマー国軍が、国の安全を担う重責の下に、民主主義、法の支配、人権尊重の諸原則を遵守して、事態の平和的解決を速やかに実現することを求める。②今回のクーデターによって拘束されたすべての人々は直ちに解放されるべきであり、国連は彼らの身体と言論の自由が保障されることを注視する。③国連特別政治ミッションは、ミャンマーにおいて武力衝突が起きないように、政党・軍・警察をふくむすべてのステークホルダーに暴力は解決手段にならないことを訴え、彼らの状況をモニターし、国連安保理に報告する。④国連特別政治ミッションはミャンマーの政治勢力と市民団体をふくむすべてのステークホルダーの間の自由で平等な立場での対話を促進する。⑤国連特別政治ミッションは、すべてのステークホルダーと協議し、全国民が正当な政権を選ぶことができるように自由で公正な選挙を早急に実施する。⑥国連は、自由で公正な選挙によってつくられた新政府が、民主的ガバナンスの原則に基づいて効果的効率的に機能することを支援し、すくなくとも次の国政選挙が適切に実施されるまでそのプレゼンスを維持する。

この声明に以下の日本国際平和構築協会の会員が賛同いたしましたので発表いたします。

賛同者

長谷川祐弘（理事長）	井上健（副理事長）	熊谷奈緒子（副理事長）
石塚勝美（理事）	猪又忠徳（理事）	キハラハント愛（理事）
黒澤啓（理事）	佐藤美央（理事）	谷本真邦（理事）
野口元郎（理事）	水野孝昭（理事）	Elizabeth Gamarra（理事）
金子有美子（会員）	窪田悠一（会員）	久山純弘（会員）
黒田一敬（会員）	黒田和秀（会員）	小溝泰義（会員）
鈴木賢一（会員）	滝澤美佐子（会員）	田中朋清（会員）
田辺圭一（監事）	西海洋志（会員）	廣野美和（会員）
山田真弓（会員）	Aigul Kulnazarova（会員）	Arbenita Sopaj（会員）